

## 修士論文発表概要の書式

知能・機能創成工学専攻  
研究室名  
氏名

### 1. はじめに

ここでは修士論文発表概要の書式を規定する。この文章は MS-Word を用いて、ここに示すフォーマットに準拠して作成されている。必要に応じて参考にされたい。

### 2. 発表概要の体裁

#### 2.1. 用紙

概要には A4 サイズの用紙を用いること。  
両面印刷にて2頁以上 4 頁以内に収めること。

#### 2.2. マージン

ページ番号も含めて、概要のすべての内容は、A4 サイズの紙面を用いて、左 : 2cm、右 : 2cm、上 : 2cm、下 : 2cm の余白とする。

#### 2.3. 修士論文タイトル・氏名等

発表概要のはじめに論文タイトルを記載しなければならない。また、タイトルの上には左寄せで「平成 27 年度修士論文発表概要」、右寄せで発表日を記載し、タイトルの下に右寄せで専攻名、研究室、氏名を明記すること。

#### 2.4. 本文

本文は原則として 2 段組とすること。  
句読点、) } が行頭にくることがないようにするなど、禁則処理も行うこと。節、項、目は 2.1、2.1.1、(a) の形式で記載すること。

#### 2.5. ページ番号

頁番号は各頁の下部中央に記載すること。

### 3. フォント、文字数、行数

とくに規定するものではないが、以下のよう  
な形にすることが望ましい。

#### 3.1. フォント

タイトル : ゴシック・Arial 14pt センタリング  
所属・著者名 : 明朝・Times 10.5pt 右寄せ  
本文 : 明朝・Times 10.5pt

見出し（節、項、目）: ゴシック・Arial 10.5pt  
頁番号 : Times 9pt センタリング  
図表のキャプション : Times 10.5pt

#### 3.2. 本文中一行あたりの文字数、行送り

本文中の一段一行あたりの文字数は全角で 22 文字程度とし、行間隔は 14pt 程度（1 ページあたり 51 行程度）とする。